

概要: 大規模地震・津波による甚大な被害が予測される地域の拠点的漁港における防波堤、岸壁等の耐震・耐津波化や、近年激甚化する台風・低気圧対策として防波堤等の耐浪化、越波対策、浸水対策、防風施設の設置による防風対策、被災後の水産業の早期回復のための電源確保対策や避難にも資する人工地盤の整備及びこれらの漁港施設の長寿命化対策を推進する。

府省庁名: 農林水産省

【事例】水産基盤整備事業

- 実施主体: 宮崎県
- 実施場所: 宮崎県川南町
- 事業概要: 災害発生時における漁港背後地の被害を軽減するため、防波堤・岸壁の耐震・耐津波化を実施。また、越波対策として護岸の嵩上げを実施。
- 事業費: 令和3年度事業費約6億円※
(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)約3.8億円)
※ 令和2年度3次補正予算を含む
- 効果: 防波堤・岸壁の耐震・耐津波化により、緊急物資供給拠点として、災害時であっても緊急物資の受入等を円滑に行うことが可能となる。



整備前



高波の進入や港内の攪乱状況

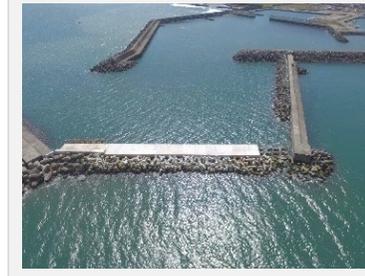


越波による浸水

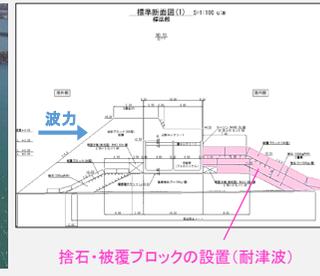
整備後



北防波堤護岸(改良)



新設された防波堤と粘り強い化の断面



捨石・被覆ブロックの設置(耐津波)